

木名瀬くにみつ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

先の県議会議員選挙で勇躍、県議会に駒を進めた木名瀬訓光県議(野田市選出)は9月県議会で登壇し、初めての一般質問に臨みました。青少年相談員を務め、長く子どもたちの健全な育成に努めてきた木名瀬県議は、県の青少年健全育成への取り組みを聞き、さらにインターネットを通じたトラブル防止について質問しました。また、児童虐待の未然防止について、県民に通告を呼びかける広報啓発活動の強化を要望しました。木名瀬県議の質問と県当局の答弁を特集します。



9月県議会で一般質問を行う木名瀬訓光県議

青少年の健全育成へ 相談員4千人が活動

7年からこの「青少年相談員」を務め、地域の子どもの成長を間近に見てきた。地域での青少年健全育成活動に大きく寄与している制度となっており、県として、ぜひ、この制度を大切にしたいと心から願う。

木名瀬議員 千葉県では、子どもたちの健全な育成を図るため、様々な施策を展開しているが、中でも、「千葉県青少年相談員」という制度は、他県に例を見ない、千葉県独自の制度。この制度によって、多くの県民が、青少年の健全育成のために尽力してきた。今でも約4千人の青少年相談員が、県内全域で活動している。

私も地元野田市で、平成

そこだろうか、地域における青少年の健全育成にどのように取り組んでいるのか。

知事 千葉の未来を担う青少年が、心豊かで、健康やかに成長していくためには、県や市町村など関係機関、青少年育成団体等がそれぞれの立場から、青少年の健全育成活動に取り組んでいくことが大切です。このため県では、スポーツやレクリエーションを通

した青少年との交流活動等を行う「青少年相談員」をすべての市町村に配置するほか、青少年補導員、ボーイスカウトなど地域における多様

な団体の活動を支援するとともに、団体間の連携を強化する取り組みを推進しています。今後も、こうした地域における青少年健全育成の取り組みを支援するとともに、市町村や地域の方々と連携・協力して、次代を担う青少年の健全育成を図ってまいります。

等と連絡し、生徒への指導などの対応を依頼しています。また、市町村に対してもネットパトロールの実施を働きかけ、平成30年度は、11市町で実施しています。さらに、学校等の要請に応じ、児童・生徒、保護者、教職員等を対象に、インターネットの適正利用についての講演を実施しており、児童・生徒からは「インターネットの危険性に気付いた」という感想があるなど、安易な利用の防止につながっています。

子どものネットトラブル パトロールで防止

木名瀬議員 子どもたちを取り巻く環境は、インターネットの発達等により、大きく様変わりしており、特

ここ10年は、スマートフォンの普及によって、小学生を含む世代が、スマートフォンを持つのが当たり前になってきた。こうした現状は、子どもたちがインターネットを通じてトラブルに巻き込まれる可能性が非常に高まっていることを示している。

SNSなどインターネットを介したコミュニケーションが主流となっている今、これによるいじめや、個人情報の安易な公開、知らない人とのネットを通じたやり取りによって犯罪に巻き込まれるなど、非常に問題になっている。

知事 県では、青少年がインターネット上のトラブルに巻き込まれることを未然に防止するため、県内の中学校、高等学校、特別支援学校等を対象に、ネットパトロールを実施し、「特に問題のある書き込み」を発見した場合は、教育委員会

木名瀬くにみつ・PROFILE

略歴

- 昭和41年 野田市に生まれる
- 昭和57年 野田市立北部中学校卒業
- 昭和60年 県立野田北高等学校卒業
- 平成4年 国土館大学工学部卒業
- 平成6年 木名瀬商事(株) 代表取締役就任
- 平成31年 千葉県議会議員当選

現職

- 千葉県議会 環境生活警察常任委員会
- 千葉県青少年相談員連絡協議会顧問

要望 木名瀬議員 青少年の健全育成を担う青少年相談員等を今後ともしっかりと支援して欲しい。また、県と地域とが協力するとともに他県の実施状況なども十分研究し、子どもたちがインターネットを使う際に危険のないよう、ネットパトロールや広報啓発を強化するよう要望する。

●県政や野田市のまちづくりについて、気軽にご相談ください

木名瀬くにみつ 県議事務所

〒278-0042 野田市吉春836
TEL.04-7125-1950
FAX.04-7124-5399

児童虐待ゼロへ 通告の啓発強化要望



県執行部の答弁に対して要望を行う木名瀬県議

木名瀬議員 本年1月に私の地元である野田市において、父親の虐待により10歳の女児が亡くなるという、大変痛ましい事件があった。県や野田市の検証作業が現在も続いており、事件の全容が明らかになるのはまだ少し先になりそうだが、社会全体で子どもを虐待から守る仕組みづくりは、少しずつでも進めていく必要があると考える。この事件では、近隣の住

民からの通告がなかったことから、児童虐待の通告有無の周知が足りていなかったのではないかと、議会でも指摘されている。

そこでうかがうが、県は広報啓発の強化について、具体的にどのように取り組むのか。

健康福祉部長 県では、例年、児童虐待防止月間である11月を中心に、児童虐待防止に向けた啓発活動である「オレンジリボンキャン

ペーン」を実施してまいりましたが、このたびの事件を踏まえ緊急対策として、6月補正で予算を増額し、年間を通じた広報活動を実施しているところだ。

具体的には「みんなで児童虐待ゼロ」をスローガンに、ラジオC

Mの本数を大幅に増やし、広報を行うとともに、9月からはJRの電車内広告も実行しているところです。

また、市町村における子育て家庭への広報啓発活動を支援するため、乳幼児健診などで活用できるリーフレットやクリアファイルを作成し、配布しています。

さらに、虐待防止月間においては、集客が見込めるイベント等を通じ、県民へ「189(いちばちきゅう)」

の周知を図るなど、今後とも、あらゆる機会をとらえて児童虐待防止に向けた広報啓発に努めてまいります。

スクールロイヤー いじめなど11件相談

木名瀬議員 県教育委員会におけるスクールロイヤー活用事業の実施状況はどうか。

教育長 県教育委員会では、本年7月16日に県弁護士会と協定を締結し、スクールロイヤー活用事業を開始したところです。

これまでの活用状況については、児童虐待、いじめ、近隣住民とのトラブルなど計11件について、対面相談等を行うとともに、8月には、県内5箇所、小中学校の校長等約1000名を対

しているところだが、その周知を徹底することも、児童虐待を未然に防止するために、効果的なのではないか。引き続き、児童虐待の防止に向けて、より効果的な広報啓発活動を検討し、実施していくよう要望する。

象に、児童虐待の対応等について研修を実施したところです。参加者からは「法的根拠がわかり対応に自信が持った」などの感想を得ております。

さらに、10月からは、県内10校で、スクールロイヤーの出前授業を行い、いじめや虐待等のケースをもとに、自他の人権を守ることの大切さについて、子供たちに直接語りかける取り組みを進めてまいります。

今後も、学校が法に基づき毅然と対応できるよう、

野田線の「清水公園駅」から「梅郷駅」の間2.9キロメートルに、連続立体交差事業を行っております。平成30年3月に仮線運行を開始し、現在、全線にわたって高架橋の工事を進めております。

引き続き、鉄道事業者と連携し、早期完成を目指し、事業を推進してまいります。

木名瀬議員 鉄道事業者と連携し、早期完成を目指し、事業を推進してまいります。

木名瀬議員 鉄道事業者と連携し、早期完成を目指し、事業を推進してまいります。

県弁護士会と連携し、スクールロイヤーの効果的な活用を努めてまいります。

麦・大豆の栽培に 県は支援の充実を
木名瀬議員 県は、水田における麦、大豆の生産をどのように支援していくのか。

農林水産部長 県では、麦・大豆を含め、転作物物をヘクター以上まとまった水田で生産する農家に対して国の交付金に上乗せ助成をするとともに、補助事業によりまして、能力の高いコンバイン等の導入を支援しております。

引き続き、県内の麦・大豆が安定的に生産されるよう、支援していくとともに、交付金が充実されるよう国に働きかけてまいります。

木名瀬議員 麦・大豆は地域によって重要な転作物目であり、これまで真面目に麦・大豆の転作に取り組んできた農家が、引き続き、安心して生

産を行っていただけるよう、支援の充実を努めていただきたい。

東京8号線の野田市 延伸を引き続き要望
木名瀬議員 東京8号線の延伸に向け、県はどのような取り組みをすすめるのか。

総合企画部長 東京8号線の野田市への延伸に津いは、県としても、関係自治体と連携しながら、国や鉄道事業者に対し、延伸実現の要望をしてきました。

こうした中、今年3月には、国において、関係者間の議論を促すことを目的に、事業化に向けた検討が先行する豊洲・住吉区間の延伸について、需要推計や収支採算性等の調査を取りまとめるといった新たな動きもあつたところです。

野田市内の交通円滑化を

結城野田線関宿台町 歩道整備へ用地取得

木名瀬議員 道路問題についてうかがう。県道結城野田線野田市関宿台町地先における歩道整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道結城

野田線の「清水公園駅」から「梅郷駅」の間2.9キロメートルに、連続立体交差事業を行っております。

平成30年3月に仮線運行を開始し、現在、全線にわたって高架橋の工事を進めております。

引き続き、鉄道事業者と連携し、早期完成を目指し、事業を推進してまいります。

木名瀬議員 鉄道事業者と連携し、早期完成を目指し、事業を推進してまいります。

引き続き、県内の麦・大豆が安定的に生産されるよう、支援していくとともに、交付金が充実されるよう国に働きかけてまいります。

木名瀬議員 麦・大豆は地域によって重要な転作物目であり、これまで真面目に麦・大豆の転作に取り組んできた農家が、引き続き、安心して生

産を行っていただけるよう、支援の充実を努めていただきたい。

東京8号線の野田市 延伸を引き続き要望
木名瀬議員 東京8号線の延伸に向け、県はどのような取り組みをすすめるのか。

総合企画部長 東京8号線の野田市への延伸に津いは、県としても、関係自治体と連携しながら、国や鉄道事業者に対し、延伸実現の要望をしてきました。

こうした中、今年3月には、国において、関係者間の議論を促すことを目的に、事業化に向けた検討が先行する豊洲・住吉区間の延伸について、需要推計や収支採算性等の調査を取りまとめるといった新たな動きもあつたところです。

県としては、今後とも、こうした国の検討状況等の把握に努めながら、引き続き、関係自治体との連携の下で、東京8号線の延伸に取り組んでまいります。

今後とも、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、残る用地の取得を進め、まずは、バイパス区間の令和5年度までの供用を目指し、事業を推進してまいります。

木名瀬議員 県道境戸線は用地取得率が99%ということなので、早期供用を目指していただきたい。